



誇れる春江中学校

副校長 鈴木 巧

今月の春江中だよりは副校長の私が担当します。私はこの学校に勤務して2年目になります。そこで、春江中学校の誇れるところ、良いところをいくつか紹介したいと思います。

① 周囲の状況に合わせた行動ができる生徒が多い

先日、生徒会役員選挙があり、立候補者の立会演説会がありました。候補者の思いを受け取るような聞く態度が素晴らしかったです。他にも授業態度、委員会活動などでも状況に合わせた行動ができる生徒がたくさんいます。

② 生徒の元気ある挨拶が習慣化されている

廊下を歩いていると生徒が元気よく挨拶してくれます。挨拶ができる学校はたくさんありますが、なぜ春江中学校の挨拶は私の心に届くのか考えました。それは春江中学校は、生徒のほうから進んで挨拶できるからです。だから来校された方々から「良い挨拶をしてくれますね」と言われることが多いのだと思います。

③ PTA活動が盛んである

PTA活動は運動会、英検、給食試食会、制服リユースなど、お忙しい中でも役員の方々を中心に活発に活動しています。案内などを含め、行事ごとに「tetoru」で配信していますので是非ご覧ください。

④ 先生方が熱心に教育活動している

先生方は生徒が自分自身の可能性を最大限に発揮し社会で光り輝く未来を切り拓くために、生徒の成長を支え教育の質を高めるための研修を重ねるなど、生徒のやる気や全力

に取り組む姿勢に寄り添える先生方です。

⑤ 「ミライシード」の生徒のアクセス数が上位

江戸川区に令和5年度に導入された「ミライシード」。本校では、生徒も教員もトライ&エラーを繰り返しながら実践してきました。その結果、本校はミライシードの1人あたりのアクセス数が中学校では1位でした。

この成果は先生方と生徒の皆さんが熱心に学びあった結果です。もちろん先生だけではなく、生徒も真面目に取り組んだ結果です。学校の授業と関連させながら自分にとって効果的な学習方法や適切な学習方法をみつけ、自分自身で学び続ける力を育てていきましょう。

これらは春江中学校の伝統が引き継がれていることでもあります。春江中学校に在籍している生徒、保護者、勤務している教職員、陰で学校を支えている地域の方々を含めた全ての方の努力や功績の成果です。

ここに紹介した以外にも春江中学校の誇れるところはたくさんあります。春江中学校は生徒が全力で取り組み、学習や行事をサポートする環境が整っています。また、周囲には、一緒に全力を出して取り組める友人や教職員がいます。正解のない時代では、生徒が自ら課題や問題を見つけて、その課題や問題にどのように取り組み、答えを導いて解決していくかが求められます。うまくいかなくても、それを失敗ととらえないで、成長や成功へのステップであるとならえ、何事にも全力で挑戦する中学校生活を期待しています。